

A healthcare professional, likely a nurse or doctor, is shown in profile from the chest up. She is wearing blue scrubs and has a stethoscope around her neck. She is smiling and looking at a tablet computer she is holding with both hands. The background is a bright, out-of-focus window, suggesting a clinical setting. The text is overlaid on the right side of the image.

Leeds
Teaching Hospitals
NHS トラスト

Scandit のモバイル用バーコードスキャンで 英国の国民保険サービス (NHS) の Scan4Safety プログラムに準拠

NHSトラスト(英国国民保健サービス (National Health Service) における病院運営組織) の Leeds Teaching Hospitals は、英国で多忙を極める最大手の救急病院トラストの1つです。このNHSトラストは、1万7,000人を超えるスタッフを擁するリーズ地域の主要な事業主として、この地域の健康をサポートするだけでなく、研究、教育、イノベーションにおける指導的役割も果たしています。

Leeds Teaching Hospitals は、ヨーロッパ有数の教育・研究医療機関であり、専門医治療に関する地域および国の中心的役割を担う、世界的に有名な生物医学研究施設、トップクラスの臨床試験研究部門であるとともに、リーズの市民にとっては地域の身近な病院でもあります。

目的：医薬品や備品の在庫、患者のトレーサビリティを確保

Leeds Teaching Hospitals は、Scan4Safety プログラムの下で英国保健省に選ばれた、英国内6つの実証拠点の1つです。これらの拠点が設けられた当初の目的は、診療現場にデータ読み取り技術を導入して、電子調達とサプライチェーンの手法の効率化を図り、GS1およびPEPPOLが策定する標準規格のメリットを実証することでした。ワークフローを変更し、これらの標準規格を取り入れることによって、各拠点では次の4つの主要分野で改善を目指しています。

患者：安全性と治療の向上

製品：全てを記録し、全ての用途を明確化

場所：全てを追跡・調査可能

プロセス：プロセスの簡素化、時間の短縮による治療への集中

Leeds Teaching Hospitals は、まず調達、サプライチェーン、在庫のプロセス効率化に重点を置いてプログラムを始動。既存の在庫管理システムを使用し、手術室スタッフと緊密に連携して、患者に移植する部品の詳細を、治療現場で専用モバイルスキャナを用いて読み取ることから始めました。導入に成功した後、一連のテストを実行した結果、医薬品の照合に関する管理は、眼科だけでも旧システムを使用した場合8時間以上かかるのに比べ、新システムを使用した在庫管理時間は、わずか35分にまで短縮されることが判明しています。これをコストに換算すると、旧システムでは最低限に抑えても173ポンドかかるのに対し、新システムでは最大でも9ポンドまで削減されます。標準規格と技術が実証されたことから、次は独自の在庫管理の手法を小売モデルに匹敵するレベルで効率化しようと考えました。この対象は医薬品や備品の在庫管理だけでなく、患者へのケアも含まれます。



業界

ヘルスケア

用途

在庫管理、患者のトラッキング

www.nhs.uk



ビジョン：データ読み取り機能をあらゆるポイントオブケアに拡充

Leeds Teaching Hospitalで既に導入していた在庫管理ソリューションには、製品のラベル、患者のリストバンド、様々な場所にあるバーコードをスキャンする基本機能は備わっていましたが、並行して実施されていた在庫追跡の手法はごく原始的で、手書きのメモなども含まれるものでした。Scan4Safetyプログラムの下、医療機器、処置手順の情報など、ポイントオブケアのあらゆる診療現場でデータを読み取るようになるならば、すぐに利用できるバーコードスキャンのアプリケーションと技術が必要になるということが、早い段階で判明していました。

ソリューション：バーコードスキャンで電子カルテの機能を強化

Leeds Teaching Hospitalsで既に導入されていたソリューションはもう1つあります。内部で独自開発されたPPM+と呼ばれる電子カルテで、患者の治療に関する全詳細を取り込み、従来の紙の記録に替わるシステムです。目的に合うバーコード読み取りソリューションをPPM+に統合することが決まり、数多くのソフトウェアを検討した結果、Scandit Barcode Scanner SDKが採用されました。Scanditのソリューションは、スマートフォンをはじめとしたスマートデバイスのコンピューティング能力を活用するソフトウェアベースのスキャナです。導入しやすさと使いやすさだけでなく、速度と精度の極めて高いバーコードスキャン機能が提供されます。この機能によって、Leeds Teaching Hospitalsの臨床スタッフが、患者のリストバンド、割り当てられたベッド、搬送先の診療室や手術室などをスキャンすると、情報がリアルタイムで更新され、ナースステーションの電子ホワイトボードに患者の正確な情報が表示されます。モバイル用バーコードスキャンは、専用バーコードスキャナに比べると比較的新しいコンセプトであることから、スキャンソリューションの効率性をテストする際には、特に使いやすさと機能が重視され、これを検証するために、Leeds Teaching Hospitalsは乳腺科病棟の1つで検証テストを開始しました。

結果：医師と看護師の双方にメリットがある効率的な高速スキャン

検証テストは6つのモバイルデバイスを使用して実施されました。患者、製品、位置情報に関する重要なデータを読み取るスキャンを数多く実行でき、看護スタッフからは極めて前向きなフィードバックが得られています。開始から4週間後、Leeds Teaching Hospitalsは、Scandit搭載アプリなら効率要件を満たし信頼性のレベルを確保できると確信しました。最も評価が高かったのはスキャンの速度と精度です。忙しい看護師にとって、どちらも患者のケアルーチンの一環として確実に組み込むことが不可欠でした。現在Leeds Teaching Hospitalでは、Scanditを統合したPPM+を、バーコード読み取り機能が必要とされる全病棟で使用しようと計画しています。また、Scanditと緊密に連携して、国際標準の企業・事業所識別コードGLNによるロケーショントラッキングの組み込みにも着手しました。これが完了すれば、Leeds Teaching Hospitalsは、Scan4Safetyプログラムで初めてこの段階へと進むことになります。

「Scanditのソリューションに対する検証テストは非常にうまくいき、医師や看護師からもこのソリューションをそのまま使いたいと意見が寄せられました。Scan4Safetyの電子調達の結果については現在非常に有利な状況にありますので、次のタスクは、これをトラスト全体で800以上のデバイスに展開する方法を計画し、他の部門、特に手術室のスタッフと連携を図ることです。Scanditの読み取りソフトウェア機能には全幅の信頼を置いています」(Leeds Teaching Hospitals プログラムマネージャー Stuart MacMillan氏)

「Scan4Safetyは、入院中の患者の移動を追跡する素晴らしい方法です。いつでも患者の居場所に関する情報を素早く確認できるので、治療や看護の計画だけでなく、身内からの問い合わせに対応する際にも役立ちます。非常にスピーディーで使いやすいので、今後の発展が楽しみです。さらに優れた機能が搭載されることを期待しています」(Leeds Teaching Hospitals 乳腺科看護主任 Jo Robinson氏)



Scan4Safetyによって、24時間365日いつでも患者を追跡できるようになり、内視鏡検査、放射線、手術室の各チームが最大限に効率を高められるようになりました。医師は患者の管理をより綿密かつ安全に行い、あってはならない事態を回避できます。ボタンにタッチするだけで患者や医薬品を確認でき、完全性についての安心感も高い。これは素晴らしい機能です。不要な在庫や期限切れの在庫をなくして無駄な廃棄を防止すること、また正当な理由のない臨床治療の差異をオープンにして異議を唱えられるようにすることは、効率化を図る病院の将来にとって欠かせません。Scan4Safetyは、適切な臨床業務に確実に加えられるべきものです。

Leeds Teaching Hospitals
副最高医療責任者

David Berridge 医師



Scanditの革新的な モバイル用データ読み取りソリューションの詳細情報

Scanditのチームメンバーへのお問い合わせ：
www.scandit.com/jp/contact-us



Scanditについて

Scandit (スキャンディット) は、ビジネスユーザーや一般ユーザーに、バーコードに限らず画像など視覚的な要素を通して、フィジカルの世界を関連するデジタル情報でリアルタイムに拡張するテクノロジーを提供します。スマートフォン、ウェアラブルデバイス、ドローン、ロボットなどのカメラ搭載のスマートデバイスから視覚的な情報を読み取ります。Scanditのプラットフォームは、独自のコンピュータビジョン、機械学習、拡張現実 (AR) を基盤として構築されています。世界中で使用され、様々な企業がプロセスやワークフローに関する有益なインサイトを獲得して、より効率的な意思決定、従業員の生産性向上、コストの削減、顧客の利益拡大を実現しています。

その他の成功事例：

www.scandit.com/jp/resources/case-studies



SCANDIT

スキャンディット合同会社

〒150-6139 東京都渋谷区渋谷2-24-12
渋谷スクランブルスクエア 39F

info-japan@scandit.com

www.scandit.com/jp

